

JITAN PRESS

北海道自動車短期大学 広報誌【ジタンプレス】

Vol.15



平成26年3月3日(第15号)
発行/北海道自動車短期大学

平成26年4月の名称変更に続き、 平成27年春に前田キャンパス(札幌市手稲区前田)に移転

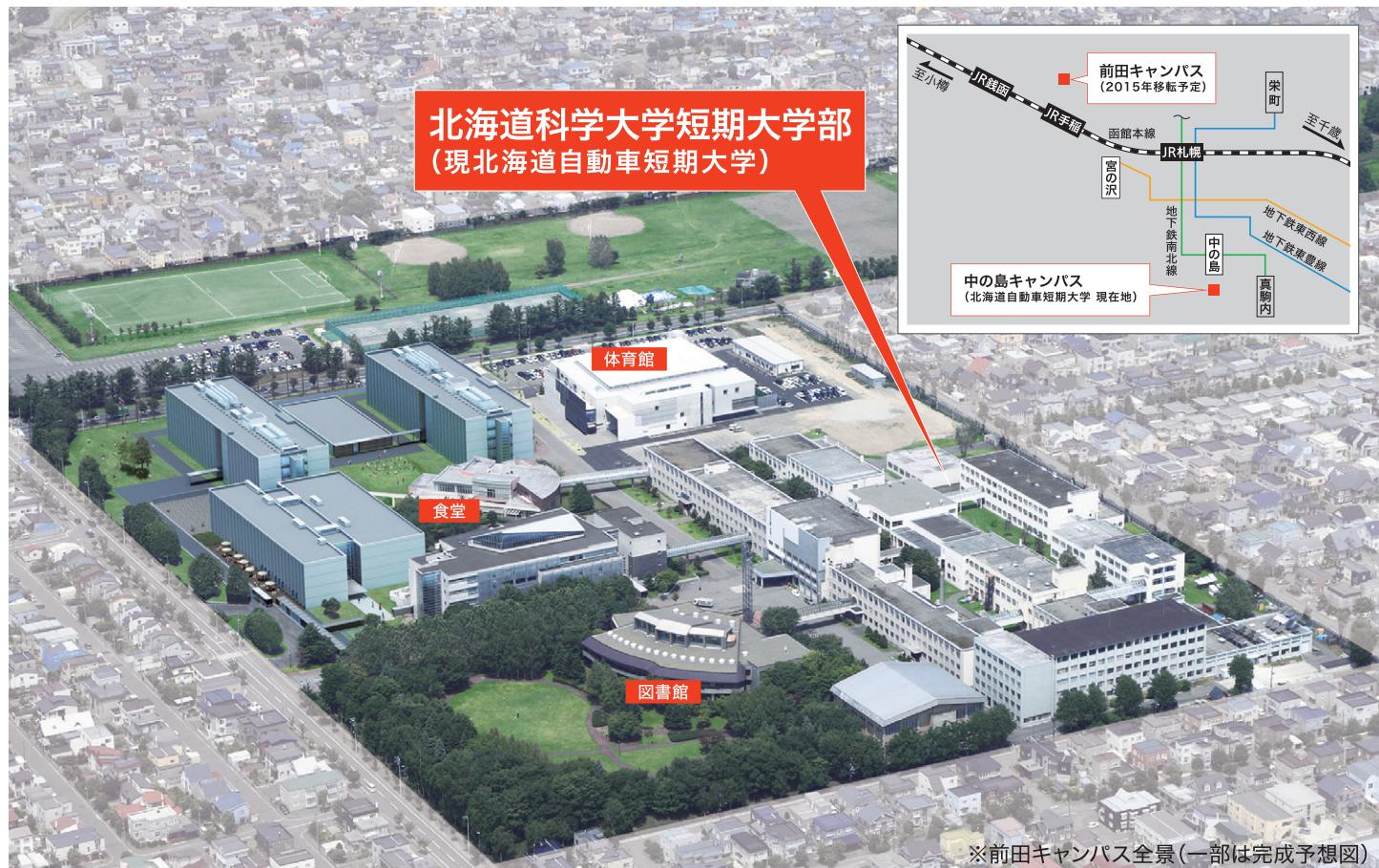
保護者の皆様にはすでにご存じのことと思いますが、本学は本年4月から北海道科学大学短期大学部に名称を変更し、学生一人ひとりが自分の将来に合わせて学べる4つのコース制を導入することになりました。それとともに新しいカリキュラムを導入。北海道科学大学(現北海道工業大学)のカリキュラムと一部共通化することによって、さらに質の高い教育を展開することが決定しております。このカリキュラムの共通化によって北海道科学大学への編入学もしやすくなり、学生にはより高度な知識・技術の修得が可能になります。

また、開学以来60年間、現在地である豊平区中の島で、地域住民の方々のご支援を得ながら短期大学教育を実施してきましたが、施設の老朽化はいかんともしがたく、抜本的な対応の必要性が生じております。このため、かねてより手稲区前田に位置する北海道科学大学の広大なキャンパス内に本学を移転させることを検討してきました。当初は平成28年度の移転を計画しておりましたが、少しでも早く

快適で安全な学修環境を学生に提供することが必要と判断し、このたび平成27年4月にキャンパス移転を実施することとなりました。

前田キャンパスは最寄りの手稲駅より都心までJR快速で約10分という至便な場所であり、さらに手稲山・石狩湾など自然にも恵まれた土地でもあります。周囲は閑静な住宅街で、広大なキャンパスには野球場・テニスコート・ラグビー場などの運動施設も整っております。また北海道科学大学や北海道薬科大学ともキャンパスを共有することにより、サークル活動や大学祭などのイベントもさらに充実し、有意義なキャンパスライフを送ることができますと考えております。移転に伴い、本学の実習設備も最新機器を取り入れ、一新する予定です。

キャンパス移転に関しましてはまだ計画段階のところもございますので、新たな決定事項があり次第、皆様に随時お知らせいたしたいと思っております。ご不明な点などがございましたら、本学進路支援課までお問い合わせください。



北海道自動車短期大学

+Professional

(2014年4月北海道科学大学短期大学部へ名称変更)

札幌モーターショー2014を後援!

北海道ハンドメイドエコカーで 知事奨励賞受賞!

『未来のはなしをしよう』をテーマに平成26年2月14日(金)～16日(日)に札幌ドームで開催された『札幌モーターショー2014』を前回に引き続き後援しました。

今回は“モーター・コミュニケーションパーク”で行われたキッズエンジニア「親子ものづくり体験 夢工房」に公益社団法人自動車技術会北海道支部とともに協力。記念キーホールダー作りやミニソーラーカー製作教室などを開催し、多くの親子連れでにぎわいました。

また「北海道らしいエコカー」を制作テーマにした『北海道ハンドメイドエコカー』には学生有志による手作りのエコカーを2台出品。そのうちクマをモチーフにして車体に毛皮を貼った“JTN-05EV”がそのユニークなデザインやインホイルモータの4輪駆動という走行性能などが評価され、最優秀賞の知事奨励賞を受賞しました。

自分たちの作った車をたくさんの人々見てもらう。
それだけでも貴重な体験になりました。

今回は2チームに分かれて2台のエコカーを制作しました。デザインの段階からボディの組み立て・塗装などすべて自分たちの手で行い、制作には半年以上かかりました。苦労もしましたが溶接など普段経験することのない作業ができ、大きな収穫になりました。また札幌モーターショーという大きなイベントに参加できたのも貴重な体験になったと思います。



自動車工業科1年
渡辺 賢斗さん



最新の工場を見学 学生研修旅行

平成25年度の学生研修旅行は学生21名、引率教員2名の計23名が参加し、平成25年10月21日(月)～10月24日(木)までの3泊4日で行われました。行き先は関東方面で、(株)DRDやUDトラックス(株)、新日鉄住金(株)君津製鉄所、日産自動車(株)横浜工場などを見学。最新の工場設備に触れるとともに、そこで働く先輩たちの姿を目の当たりにして将来の自分の姿と重ね合わせていました。いずれの見学先でも特別な配慮をいただいたことに感謝いたします。



自動車工業科1年
瀧川 裕太さん



あこがれのレーシングカーを見て、
自動車への興味がさらに高まりました。

今回の研修旅行で一番楽しみだったのは『NISMO』の見学です。モータースポーツが大好きだったので、実際のレースに参加したレーシングカーを見られるって行く前から興奮していました。日

産自動車の最新工場もいくつか見学させていただきましたが、どこも興味深かったです。働いている先輩の話もためになりましたし、今回の研修旅行で学んだことが実際の授業にもすごく役立っています。

応援にも力が入る! 好プレー連発の体育大会

平成25年10月11日(金)に体育大会を開催しました。毎年大きな盛り上がりを見せる体育大会ですが、今年も学生全員がクラス対抗で、バスケットボール、フットサル、バレー、ボーリングの3つの競技に挑みました。経験者も未経験者も一丸となってボールを追い、優勝目指してハッスル。僅差で敗れるシーンなどもあり、応援合戦にも力が入ったようです。日頃の運動不足を解消する絶好の一 dniになりました。



総合成績	
1位	2年C3組
2位	1年G組
3位	1年H組
4位	1年D組
5位	1年A組

※ 同率1位の4チームによるじゃんけんで順位を決定

平成25年度 就職内定状況

卒業予定者数をはるかに上回る求人をいただき、今年も例年通りの高い内定率を保っています

今年は就職内定の出足が早く、例年よりも10ポイント以上高い内定率で推移してきました。年明けからは少し内定者の出るスピードが落ちてきましたが、それでもすでに9割近くの学生が進学・就職先を決めていますので、卒業までにはほぼ全員が内定するものと考えています。

ここ数年の学生に共通していることです、とかく『のんびり』型が多く、就職活動にもいまひとつ覇気が見られないことがあります。企業側

は採用意欲が強く、一人でも多くの優秀な人材をと望んでいるのですが、学生側からは「とりあえず就職できれば」といった印象を受けます。短大生活は2年間と短く、就職活動の期間もあつという間です。できれば入学直後からでも保護者と「どういった職につきたいのか」「地元を離れる意思はあるのか」などを話し合い、少しでも多くの企業と接触して満足できる就職を果たしてほしいものだと思います。



自分から担当者に電話し、納得いくまで話を聞きました。

自動車工業科2年
前田 智哉さん

1年生のうちは就職に対するはっきりした考えもありませんでした。それでも『合同企業説明会』はいろんな企業の方の話を直接うかがえるめったにない機会ですから7~8社回りました。今回内定をいただいた(株)日本除雪機製作所には4・5回直接お電話させていただいて、業務内容や仕事についてなどを尋ねました。最初はドキドキして手が震えましたが、納得いくまでお話をうかがえたので今は安心して就職できます。



就職支援部長
長谷 渡

JITAN独自の『合同企業説明会』開催

平成26年1月28日(火)、毎年行われている本学独自の『合同企業説明会』が開催されました。今年の参加企業数は97社で、自動車ディーラーのみならず、機械メーカー、損害保険会社、運輸会社など多岐に渡る業界からの多数の参加をいただきました。

また現在の2年生の内定率は87.3%となっており、今年も『就職に強いJITAN』が証明された結果となっています。



参加企業一覧(本学登録企業コード順)

(株)日本除雪機製作所、古河機械金属㈱、北海道中央バス㈱、サンコー・エア・セルティック㈱、千歳空港モーターサービス㈱、㈱オカモト、(株)日本ユートランド、トヨタ＆F札幌㈱、㈱北日本オート用品、石上車輪㈱、日立建機日本㈱、㈱デンソーアーツ北海道支社、北海道川重建機㈱、コマツリフト㈱、㈱コーンズ・エージー、農安全自動車㈱、エム・エス・ケー農業機械㈱、㈱イセカイ札幌支店、㈱オートパックス北海道、コベルコクレーン㈱、東日本コベルコ建機㈱、札幌トヨタ自動車㈱、札幌トヨベット㈱、ネットトヨタ旭川㈱、トヨタカローラ札幌㈱、ネットトヨタ道都㈱、北海道日産自動車㈱、札幌日産自動車㈱、日産ブリッズ札幌販売㈱、UDトラックス北海道㈱、北海道三菱自動車販売㈱、三菱ふそうトラックバス㈱北海道ふそう、北海道マツダ販売㈱、㈱ホンダカーズ札幌中央、㈱ホンダ四輪販売北海道、㈱ホンダカーズ南札幌、北海道いすゞ自動車㈱、北海道スバル㈱、㈱スズキ白石北海道、北海道日野自動車㈱、㈱オートランド札幌、國際興業グループ㈱、北海自動車工業㈱、㈱モトレーン札幌、㈱ヤナセ札幌営業本部、㈱ホンダカーズ千歳、函館トヨタ自動車㈱、トヨタカローラ函館、青森トヨタ自動車㈱、㈱スズキ自販関東、いすゞ自動車首都圏㈱、㈱レッドバロン、ダイハツ北海道販売㈱、東北海道日野自動車㈱、㈱北海道ブリヂストン、SGモータース㈱、ホンダカーズ小樽㈱、㈱ティアリ、㈱スズキレビオ、㈱ネットトヨタ苫小牧、カメリオート北海道㈱、東京海上日動サービス㈱、㈱損害保険ジャパン、日本興亜損害保険、㈱ジック、あいおいニッセイ同和損害調査㈱、㈱カナモト、㈱アクティオ、一般社団法人日本自動車機械工具協会札幌支所、エスケーリース㈱、㈱ワールカム北海道、㈱カーリード、㈱林工自、日通機工㈱、㈱滝川自工、㈱ホクレン油機サービス、㈱クレタ、自衛隊(札幌地方協力本部東部地区隊)

平成25年度後学期 成績優秀奨学生決定!



人物・学業成績とともに優れ、向学心が旺盛な学生に本学独自の奨学生を給付する後学期成績優秀奨学生が決定しました。奨学生に選ばれた学生には一人ひとりに学長より証書が手渡され、さらなる精進を期待するとの励ましを受けました。奨学生となった学生も学びを深める意思を確認し、奨学生に恥じない学生生活を送る決意を新たにしていました。今後もしっかりと将来への希望を持って学業に励み、他の学生の手本となることが期待されています。

平成25年度後学期成績優秀奨学生

自動車工業科第一部	大泉 岳
自動車工業科第一部	阿部 弘毅
自動車工業科第一部	前田 智哉
自動車工業科第一部	石田 裕弥
自動車工業科第一部	新保 宏幸
自動車工業科第二部	阿武 克也
車体工学専攻	柳瀬 卓哉

セーフティラリー北海道2013 参加結果

平成25年7月1日(月)～10月31日(木)の間、学生、教職員の交通安全意識を高めるために毎年参加している『セーフティラリー北海道2013』の結果が発表されました。今年度は学生・教職員合わせて196名、50チームが参加しました。達成人数は140名、達成チーム数36チーム、達成率72.0%という過去最高の結果になりました。今後も交通安全の意識を忘れることなく、学生・教職員ともに無事故・無違反に努めていきたいと考えています。



保護者懇談会を開催

平成25年9月29日(日)、保護者懇談会を開催しました。今年度は「親元を離れて生活している学生の下宿やアパートなど日頃の様子を見てほしい」との願いから地方での開催は行わず、本学のみでの開催となりました。学長挨拶の後、担当教員から成績や学生生活・奨学生についての説明を面談形式で実施。昨年度を上回る保護者の方々にご参加いただき、学内の施設見学では普段見ることのできない実験・実習の施設・設備に目を見張っていました。



積み重ねた研究の成果を発表！ 「学生研究発表会」

平成26年1月29日(水)、本学視聴覚教室において「平成25年度 学生研究発表会」が行われました。担当教員の指導の下で、日頃からの研究の成果をよりわかりやすく伝えるために準備を重ねてきた研究発表者がそれぞれ持ち時間の10分間にフルに活用しての発表となりました。どの研究内容も興味深く、発表の後では視聴していた学生や教職員と発表者の間で質疑応答が繰り返されるなど熱のこもった一日となりました。



演題	研究発表者氏名
外部診断機を用いたABS始動速度による車体速度の推定	畠中雄太・中村修平・野田和弥 細川琢未・村山詢季・柳瀬卓哉
雪氷路面における滑りやすさの計測手法開発	檜山真之助・伊藤隆志
F1の歴史から見る市販車への影響と技術	梶野晃一・三川悠哉
塗装の隠ぺい性と「色相」、「明度」、「彩度」の変化～人の目と携帯アプリの違い～	田丸豪・浜岸直矢・藤岡裕貴 三笠郁
SNSを利用した目的地巡回ゲームの開発	池田悠樹
電動化したランチャスターの製作	大野祐矢・澤口翔太
二輪自動車のレストア手法について～経年変化による腐食で損傷した部品の補修について～	横田直仁・中村健太
電動RCカーのステアリング特性～足回りの調整及び車体構造の変更による効果～	佐々木佳樹・小野寺啓太 平賀駿・渡邊陽太
北海道固有のニーズを満たす超小型モビリティの製作	前田智哉・山内敦史
北海道の冬道を走る三輪水素燃料電池自動車の製作	橋本慎輝・鈴木唯人・高瀬潤 近藤大貴

難しいからこそやりがいのある研究でした。

『雪氷路面における滑りやすさの計測手法開発』というテーマで発表しましたが、正直最初はとても難しく、理解することさえできませんでした。しかしテーマが雪氷路での“スリップ”に関する研究ですので、とてもやりがいがあり、卒業後もできればこの研究を続けていきたいと思っています。



自動車工業科2年
檜山 真之助さん



「開学60周年記念公開講座」を開催

平成25年11月3日(日)の文化の日に文部科学省第55回教育・文化週間関連事業、札幌モーターショー2014開催記念関連事業、本学の開学60周年記念として、公益社団法人自動車技術会北海道支部等の協賛により公開講座を開催しました。

午前の部は「親子ミニソーラーカー製作教室」や子ども安全運転免許証の発行(JAF)などがありました。キットを使った『ソラえもん号』を組み立てる「親子ミニソーラーカー製作教室」には小学生とその保護者約100名が参加。当日はあいにくの曇空でしたが、できあがったソーラーカーを学内などで走らせ、大きな歓声を上げていました。午後からは基調講演として「新たなクルマのテクノロジー」をテーマに本学の山崎教授の講演会を開催。その後JAFの山口博之氏による「どんな車も燃費が良くなるエコドライブの秘訣は？」の講演があり、講演会終了後には隣接する北海道自動車学校のコースを利用してハイブリッドカーや電気自動車などの体験試乗会やパネルセッションなどが行われました。

